

高校再編に関する意見交換会での主な意見

	高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>朝日町 (7月3日)</p> <p>参加者:約 120 名</p> <p>発言者 11 名 (慎重 11 名)</p>	<p>——</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①大規模校ありきで小規模校の良さが考えられておらず、地方創生の流れの中で全く逆行している。 ②小規模校の方が教師と生徒、生徒間で信頼関係を築くことができる。 ③情報技術を活用して、距離と場所の問題は効果的に解決できる。 ④子どもの数と教育の質は関係なく、規模が大きい学校が必ずしも良いわけではない。 ⑤小規模校には小規模校なりの教育があり、再編する必要があるのか疑問。 ⑥大規模校の学級数を小規模校に移せばよい。 ⑦小規模校から大規模校まで、子ども達の多様性に応じた選択肢が一番大事。 ⑧富山市の子ども達が富山市から出て県内に散らばってもよいのではないか。 ⑨地元にある中学校から地元の高校に行く選択肢をなくすべきではない。 ⑩地域活性化、地方創生については、子どもを切り離して話をすることはできない。 ⑪中学生が身近な高校生から鍛えてもらい、磨いてもらっており、中学生にとって高校が非常にありがたい存在。 ⑫泊高校の観光コースを魅力ある課程にすれば、全国から人が来る。その際の宿泊施設等の応援はやらなければならないと思っている。 ⑬切磋琢磨は小規模校でもできる。教育の質が確保されていれば、問題ない。 ⑭子どもファーストといいながら、実際は大人の論理を振りかざしている。 ⑮富山県としてどのようにして朝日町を守るのか、そのことを頭の片隅に思っていたいただきたい。

高校再編に関する意見交換会での主な意見

	高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>高岡学区 (7月6日)</p> <p>参加者: 134名</p> <p>射水市 27名 高岡市 75名 氷見市 7名 その他 25名</p> <p>①発言者 10名 積極 4名 慎重 5名 その他 1名</p> <p>②書面回答者 21名 積極 11名 慎重 4名 その他 6名</p> <p>合計 31名 積極 15名 慎重 9名 その他 7名</p>	<p>①子ども達に発達段階に応じた教育環境を提供することは大人の大きな責任で、特に高校では切磋琢磨、学習・部活の面である程度の規模が必要であり、子ども達に選択幅の広い学校を残して欲しい。</p> <p>②子ども達が自分の夢を実現するため、多様で選択幅のある学校を提供することが必要であり、再編せざるを得ない。</p> <p>③子ども達のために高校があって、周りと繋がりができて、歴史・文化ができるという発想もって欲しい。</p> <p>④町がつぶれるから高校を残して欲しいというのは、大人の身勝手さが前に出ていると思う。</p> <p>⑤再編は良いと思うが、学科構成が一番大事である。また、公私比率や子ども達の通学環境も考えて欲しい。</p> <p>⑥小規模校の場合、メリットよりもデメリットが目立ち、進路実現、部活動、先生同士の切磋琢磨の面で大規模校のメリットがある。</p> <p>⑦少子化を目の前にして、再編に関して本県はギリギリのタイミングだと思う。</p> <p>⑧データから見ても再編は止むを得ないものと感じる。</p> <p>⑨「子どもの未来のために」という考えに賛成。再編により各高校が、学業はもちろん、施設や環境も整備して欲しい。</p> <p>⑩現時点でも、子ども達の部活動や友達の少なさが問題となっており、再編は避けられないのではないか。</p> <p>⑪人間力を高めるには、多くの出会いが必要であり、小規模校では難しく、再編は避けられない。</p> <p>⑫高校と地域の活性化に相関性があるのか疑問。1学年3学級では教育効果は薄い。</p>	<p>①射水市では、中学卒業生に対する県立高校の定員が46%で、5割をきっているのは射水市だけである。再編については、通学可能な地域内に高校をバランスよく配置すべきで、今程の指摘についても議論してほしい。</p> <p>②自分の子どもは、小規模校に通っており、先生と友人との接点が多く、良い学生生活を過ごしているように思える。小規模校の良さを検証してほしい。</p> <p>③小規模校を減らすという結論ではなく、例えば、35人学級にするなど、今の学校数のままで、高校の教育環境の再編ということを議論してもらいたい。</p> <p>④地元の高校は、志願倍率が高いのに定員が増えず、1学年3学級のままである。再編に反対であり、3学級以下ということだけで判断してほしくない。</p> <p>⑤学校を減らすべきではなく、それぞれの特色や個性を考え、生かせる方法を考えてもらいたい。</p> <p>⑥どの学校も地域になくてはならないものであり、高校再編は、小規模校をなくすべきではなく、教育環境の再編という議論をしてほしい。</p> <p>⑦福岡高校と福光高校がなくなると、小矢部市の中学生には選択肢がほとんどなくなり、伏木高校がなくなれば、氷見の中学生は、高岡まで通学するしかない。</p> <p>⑧国の教育改革が不透明で、国の方針いかんによっては大規模な改革を強いられる可能性もあることから、この動向を注視すべきで、今は再編するべきではない。</p>

高校再編に関する意見交換会での主な意見

	高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>富山学区 (7月8日) 参加者: 60名</p> <p>(富山市 44名 その他 16名)</p> <p>①発言者 4名 (積極 2名 慎重 2名 その他 0名)</p> <p>②書面回答者 30名 (積極 14名 慎重 5名 その他 11名)</p> <p>合計 34名 (積極 16名 慎重 7名 その他 11名)</p>	<p>①1学年4学級の高校でも、男子バレーボール部や男子バスケットボール部などができなかつた。再編して、子ども達が充実した高校生活ができるようにしてもらいたい。</p> <p>②一番多感な時期に、大規模校であれば、たくさんの人間と知り合うことができ、大きな成長にも繋がる。</p> <p>③地域の方々の寂しい思いも分かるが、部活動、科目開設数、理科などの専門教員の確保などの面から、1学年6学級以上の学校を多くしてもらいたい。</p> <p>④富山のものづくり企業のため、職業科、特に工業科の定員はこれ以上減らさないでもらいたい。</p> <p>⑤高校時代は、多くの生徒や先生と交流し、人間力を高める必要があり、再編はやむを得ない。</p> <p>⑥生徒の選択肢を増やし、全員が3年間を満足できるよう、この機会に大きく改革して欲しい。</p> <p>⑦1学年3学級では、行事や部活動で十分な活動が期待できず、最低5学級は確保してもらいたい。</p> <p>⑧本県はコンパクトな県であり、地域を広域的にとらえ、再編により、学校規模を拡大することが求められている。</p> <p>⑨生徒数の減少が大変切実な問題であることが理解できた。6学級以上の学校が生徒にとってよい教育環境を提供できると思う。</p> <p>⑩あらゆる取り組みは、小規模校より大規模校の方がより高い効果があると思う。</p> <p>⑪私の地元広島県では、地元の高校のレベルが下がると、優秀層から県外に流出している。高校の質の確保のため、再編に取り組んでももらいたい。</p> <p>⑫社会人として、自立していくため、高校時代は、多様な人との出会いを経験し、自らを磨く必要があり、高校再編も前向きに議論していくべき。</p>	<p>①伝統を受け継いでいくことが重要。子どもが減ったから画一的に減らすのはどうか。</p> <p>②高校に35人学級を導入すれば、減少すべき学級数も少なくなる。</p> <p>③地方創生と合わせて、各市町村に均等に高校を配置すべし。</p> <p>④教育と地方創生は切っても切れない関係。</p> <p>⑤高校の少人数学級を前提とした議論をしてもらいたい。</p> <p>⑥3学級以下だと、専門教育ができないならば、教員数を増やせばよいのではないか。</p>

高校再編に関する意見交換会での主な意見

	高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>新川学区 (7月9日)</p> <p>参加者:218名</p> <p>朝日町 35名 入善町 129名 黒部市 10名 魚津市 18名 滑川市 4名 上市町 2名 立山町 4名 その他 16名</p> <p>①発言者 13名</p> <p>積極 4名 慎重 8名 その他 1名</p> <p>②書面回答者 48名</p> <p>積極 11名 慎重 31名 その他 6名</p> <p>合計 61名</p> <p>積極 15名 慎重 39名 その他 7名</p>	<p>①小規模校では、学科や部活動の選択幅が狭くなり、学校行事もジリ貧であり、大人の義務として高校再編も積極的に考えていかなければならない。</p> <p>②平成43年度の学校の姿を考えると、再編やむなし。</p> <p>③現実として生徒数の減少という課題があるので、再編を急速に進めるべき。</p> <p>④高校生は全国的、世界的な進路も目指すことができるようにすべきなのに、一つの町の問題に置き換えている。大多数の中で切磋琢磨すべき。</p> <p>⑤子ども達の減少を考えると再編は必要であり、今のままでバランス良く残せるはずはない。</p> <p>⑥泊高校のOBであるが、自分のいた部もなくなり、他の部の部員数を見ても少数で、教育機関の機能はないと思う。入善高校と統合して、跡地活用を考えた方が良い。</p> <p>⑦地元で高校が必要と言うなら、地元が動くべきで、隣の町と合併して1市町1高校を維持するのも一つの考え。地域のために高校はあるべきではないのに、地域住民はそのことを勘違いしているように思う。</p>	<p>①少子化により再編を検討する時期だというのは分かるが、高校にとって地域とともにあることに効果がある。独自性のある高校にして、将来に繋げてもらいたい。</p> <p>②30人学級を導入すれば良い。人数が少ないから切磋琢磨できないということはない。</p> <p>③シミュレーションを見ると、新川地区には最終的に3、4校しか残らないのではないかと思う。これで新川地区のバランス、子どもの個性を生かした教育ができるか疑問。</p> <p>④県全体で痛みを分かち合い、学区にこだわらず、生徒達が通学しても良いのではないか。地域を切り離して、この話を進めてもらいたくない。</p> <p>⑤学校はシミュレーションで示された平成38年度の姿が良い。</p> <p>⑥少子化により再編が必要なことは理解しているが、小中学生が地元の高校生を見て、夢を膨らませていければ良いと考えている。</p> <p>⑦地域やPTA、保護者の話をしっかり汲み取って、議論を重ねてもらいたい。</p> <p>⑧高校は義務教育ではないのだから、競争原理は必要。定員割れを起こさないように、泊高校や入善高校を少人数の学校にすべき。</p> <p>⑨3日の朝日町会場でのアンケート結果では、91%の方がもっと議論すべきとのこと。次の総合教育会議の場に、朝日町の強い想いを伝え、議論してもらいたい。</p> <p>⑩各地域に、商業、農業、普通科の学校を1つずつ作って、どの地域でも同じ様に、子ども達が行きたいところに行けるようにすべき。</p> <p>⑪地域バランスを考えるべきで、富山や高岡に集中し過ぎている。</p> <p>⑫地域的特色のある小規模校も残すべき。</p> <p>⑬人口減少により高校再編は必要と思うが、子どもの未来と地域の活性化を考えると、「1市町1高校」をお願いしたい。</p> <p>⑭少子化のため、再編はやむを得ないが、再編と地方創生（1市町1高校）を両立させる案を考えてもらいたい。</p> <p>⑮再編は止む無しと思うが、まずはクラス人数の調整で、現在と同クラス数で進めていただきたい。</p> <p>⑯入善町と朝日町の2町で1校は残すべき。また、農業科の定員も増やしてもらいたい。</p> <p>⑰選択科目が多ければ良いというのではなく、市町村に1高校は確保すべき。</p> <p>⑱地域について子ども達に良く知ってもらい、地域に就職する機会を多く作ってもらいたい。</p>

高校再編に関する意見交換会での主な意見

	高校再編に積極的な方々の意見	高校再編に慎重な方々の意見
<p>砺波学区 (7月10日)</p> <p>参加者:304名</p> <p>砺波市 49名 南砺市 226名 小矢部市 11名 その他 18名</p> <p>①発言者 18名</p> <p>積極 2名 慎重 13名 その他 3名</p> <p>②書面回答者 53名</p> <p>積極 7名 慎重 38名 その他 8名</p> <p>合計 71名</p> <p>積極 9名 慎重 51名 その他 11名</p>	<p>①少人数学級にしてクラス数を増やせばよいという考え方では、小規模校の様々な制約は解決しない。小規模校も少しくらいあっても良いが、小規模校ばかりになることは非常に不安だ。</p> <p>②高校と地域のつながりは強くあるべきだが、再編は別問題。高校がなくなっても地域に力がなくなるとは思わない。積極的にすすめていくことに賛成。</p> <p>③県民の意見を広く求めることは大切だが、反対の声もある中で、基本的な方針を早期に決定して、速やかに示し、リーダーシップをとって進めてほしい。</p> <p>④反対するのは理解できるが、地域エゴは捨てて、砺波地域の生徒のために英断しなければならない。肅々と再編を遂行してもらいたい。大多数の県民の意見だと思う。</p>	<p>①地域に高校は必要で、砺波地方に福野・砺波・砺波工業の3校しか残らないというのはいかがなものか。</p> <p>②地元の小規模な高校で学びたいという生徒に選択肢を残していくことは、教育行政の大切な仕事であり、そこで知恵を出すのが仕事だと思う。</p> <p>③40人学級を段階的に30人学級にしていくことで、今のクラス数は全部残る。</p> <p>④平高校は1学年1学級しかないが、郷土芸能部が全国1位になって素晴らしい学校で、なくさないで欲しい。</p> <p>⑤子どもの教育と地方創生を両立する方法を考えるのが教育委員会だ。</p> <p>⑥進学校に行った同級生は富山に帰ってこない。小規模校の同級生は、富山で一緒に暮らしている。そうした意味から、小規模校は絶対必要。</p> <p>⑦小規模校を廃止して、大規模校、優秀な学校のクラス数を増やすという危険性、怖さを感じている。</p> <p>⑧井波高校が再編されたが、また、砺波で再編の話が出てきておりエンドレスだと感じている。跡地利用の話と一緒に説明されれば、地方創生の将来ビジョンを含めて、統廃合計画が成り立つのではないか。</p> <p>⑨平高校や福光高校がなくなれば、城端線がなくなるのではないかと危機感がある。高校再編が地域の鉄道の存続に結び付いていることも知って欲しい。</p> <p>⑩今の状態でいけば、将来小規模校ばかりの学区が出てくることは、火を見るよりも明らかだと思うが、高校再編の前にAIを学べる学科編制を行い、全国から生徒を呼べばよい。</p>
	<p>⑮中山間地では、冬に雪が降り大変危険な日もある。地元で高校があって選べる方がいい。</p> <p>⑯合併して、福光、福野、平の3キャンパスにできないか。</p> <p>⑰子ども達の数が減っていくことは確実なのだから、高校の再編は仕方ないことだと思うが、通学にかかる時間を考えると、砺波地区に高校は残してほしい。</p> <p>⑱広い南砺市で高校が2つは少ない。ただし、税金が増え、住民の負担を増やしてまで維持する必要があるかはわからない。</p> <p>⑲南砺市はこのままだと近い将来の存続が危ぶまれる。この大事なときに福光高校をなくすことは南砺市の寿命が縮まることにほかならない。</p> <p>⑳再編対象校を分校とし、全国から生徒を募集するなど、教育の地方創生の視点があっても良いのではないか。</p>	<p>⑪南砺市山間地の生徒にとって、通学は大変な負担であり、制約がある。子どもが進路選択する上で、特に山間地には配慮いただきたい。</p> <p>⑫井波高校がなくなり、福光高校もなくなると、その周辺の普通科を希望する生徒の行き先がなくなるのではないかと不安。</p> <p>⑬南砺エリアから金沢への人口流出を後押ししていいのか。高岡方面から南砺に流入する対策を行うべき。</p> <p>⑭南砺市は広域であり、公共交通が不便で、生徒、保護者の負担が大きい。</p> <p>⑮交通の面で他の市への進学が難しい。分校ではだめなのか。</p> <p>⑯大規模校は学力差が大きく現れ、教育効果が薄い。</p> <p>⑰高校は学業が本分なので、小規模できめ細かい教育ができるほうが良い。砺波地区は3学級でも良い。</p>